

久留米工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	中国語	
科目基礎情報							
科目番号	4CG01			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	生物応用化学科			対象学年	4		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	初級中国語。参考書 補助教材、随時プリント						
担当教員	趙 淑範						
到達目標							
1. 声調を見て、四声を正確に発音でき、また、聞き取ること及び聞き分けることができる。 2. ピンイン及び漢字を正しく発音すること、書くことができる。 3. 本文を読めることができ、正しい日本語訳することができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1		ピンイン及び漢字が読める	ピンイン及び漢字がある程度読める		ピンイン及び漢字が読めない		
評価項目2		ピンイン及び漢字が書ける	ピンイン及び漢字がある程度書ける		ピンイン及び漢字が書けない		
評価項目3		文法が理解できる	文法がある程度理解できる		文法が理解できない		
学科の到達目標項目との関係							
JABEE E							
教育方法等							
概要		○ 中国語の基礎から会話練習を行うと同時に、発音を定着させる。繰り返しピンインを覚えながら、漢字も覚える。 ○ 各場面の挨拶、簡単な自己紹介など基本的なコミュニケーション力を養う。 ○ 自習能力を養成させる。					
授業の進め方・方法		○ 基本的には講義の形で行います。自習が必要です。 ○ 授業内容はノートに記入する、講義中に質問に対し、積極に対応する、宿題を提出する。 ○ 自力でトレーニングを完成する					
注意点		○ 毎回教科書を持って講義を受けること。 ○ 発音の段階で合格（60点）をできないと、自分で教科書を読めない、自習ができない、次の授業に進めない。 ○ 期末テスト点数は60点合格し、合格ができない場合、再試します、ただし事前の相談が必要です。（つまり、日常小テスト成績合格（60点以上）により再試を行います。） ○ 事前学習として、前回の授業で学習した漢字と音声を復習しておくこと。					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	発音（声調、単母音、練習）		声調の意味わかる時点で、正しく応用する、単母音正しく書ける、正しく発音する		
		2週	発音（子音）		子音正しく発音する、子音正しく書ける		
		3週	発音（複合母音）、家族と親族の読み方		複合母音正しく書ける、正しく発音する		
		4週	発音（複合鼻母音）、数字の数え方、曜日の言い方		複合鼻母音正しく書ける、正しく発音する		
		5週	音の比較、家族の言い方		複合母音、声調組み合わせ練習		
		6週	発音の総合復習、簡単な挨拶		発音テスト		
		7週	名前の言い方、人称代名詞、判断動詞“是”の文		ピン音を見ながら、漢字を読める		
		8週	副詞“不太・・・”、仮定の“那”、強調の“就”		漢字を書ける、さらに日本語の意味を分かる		
	2ndQ	9週	指示代名詞、動詞“在”“有”		指示代名詞を正しく発音、正しく書ける、応用もできる		
		10週	可能の“能”、“会”、“可以”、疑問詞“呢”、疑問の“怎么”		詞の意味がしっかり理解できる、文を作る		
		11週	助詞“了”、疑問詞“什么”、疑問詞“吧”		疑問詞の大切さを味わう		
		12週	順番表す“先・・・再”、連続の“和”、方向の“”		文法の意味が理解する、自分が文を作る		
		13週	疑問“几”、数える“每”、副詞“一下”		副詞の使い方を覚える		
		14週	助動詞“”、副“都”		助動詞の使い方を覚える		
		15週	期末の総合復習		ピンインを漢字に直し、文に正しい日本語を訳することができ、語を正しい語順に並べ替え		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発音	小テストなど	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	20	10	0	0	0	100
基礎的能力	70	20	10	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0